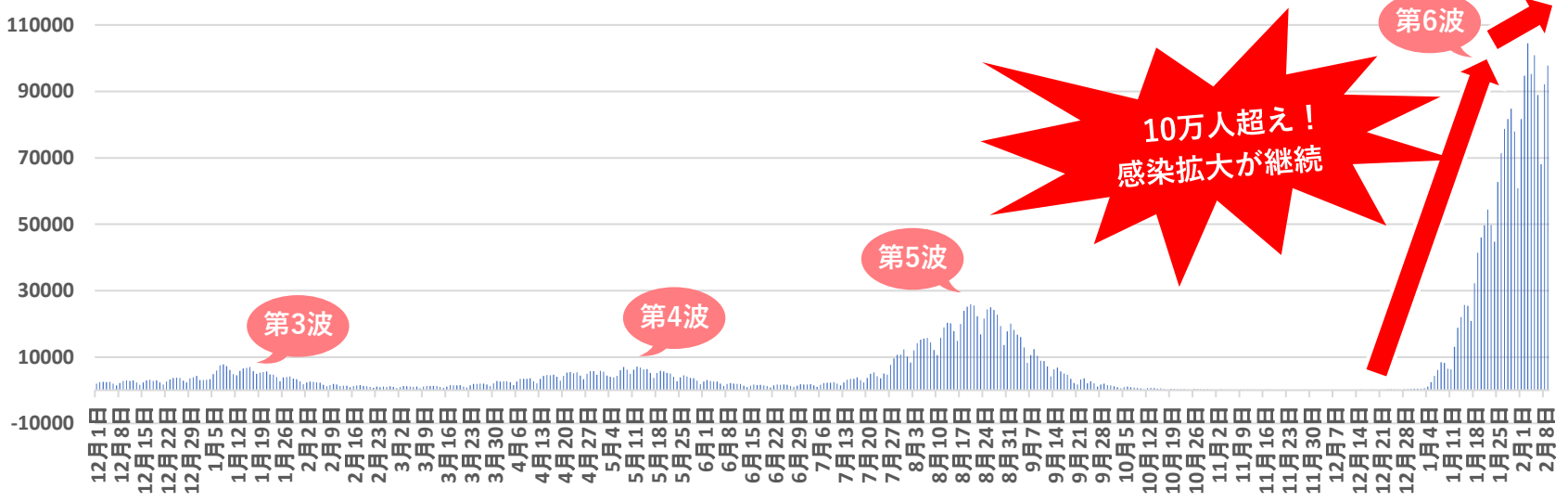


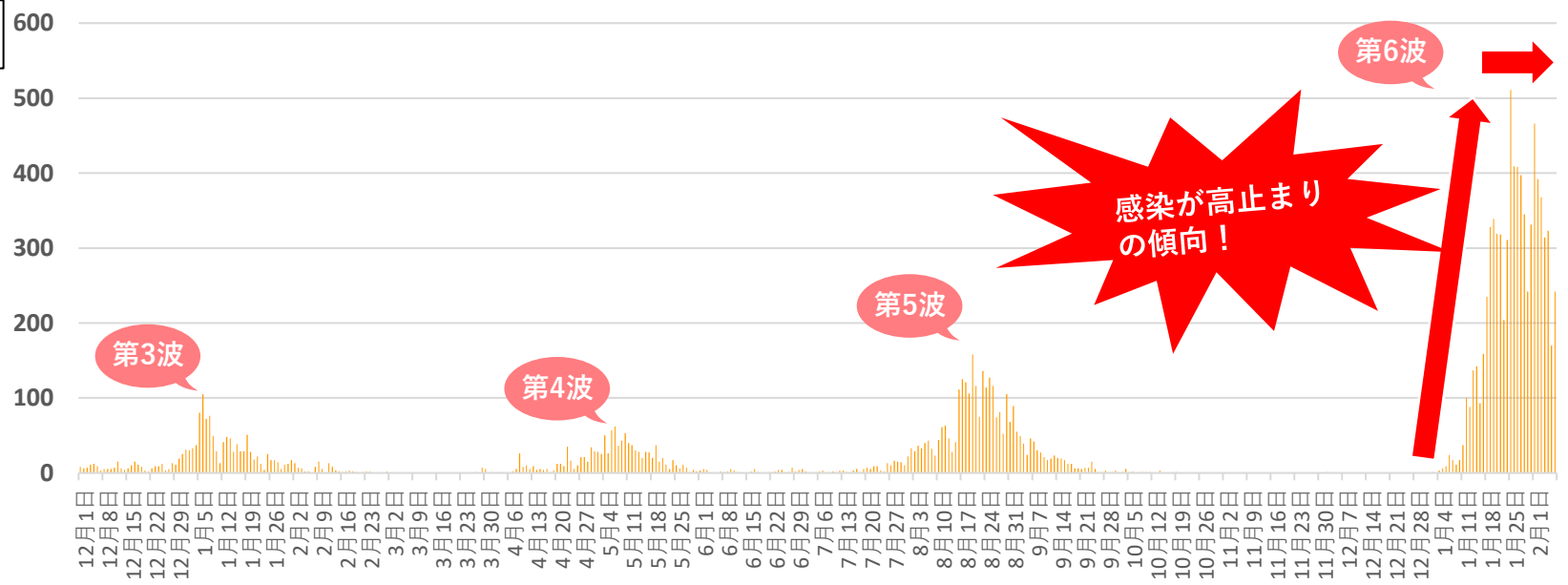
全国と県内の感染状況

資料 1

全国



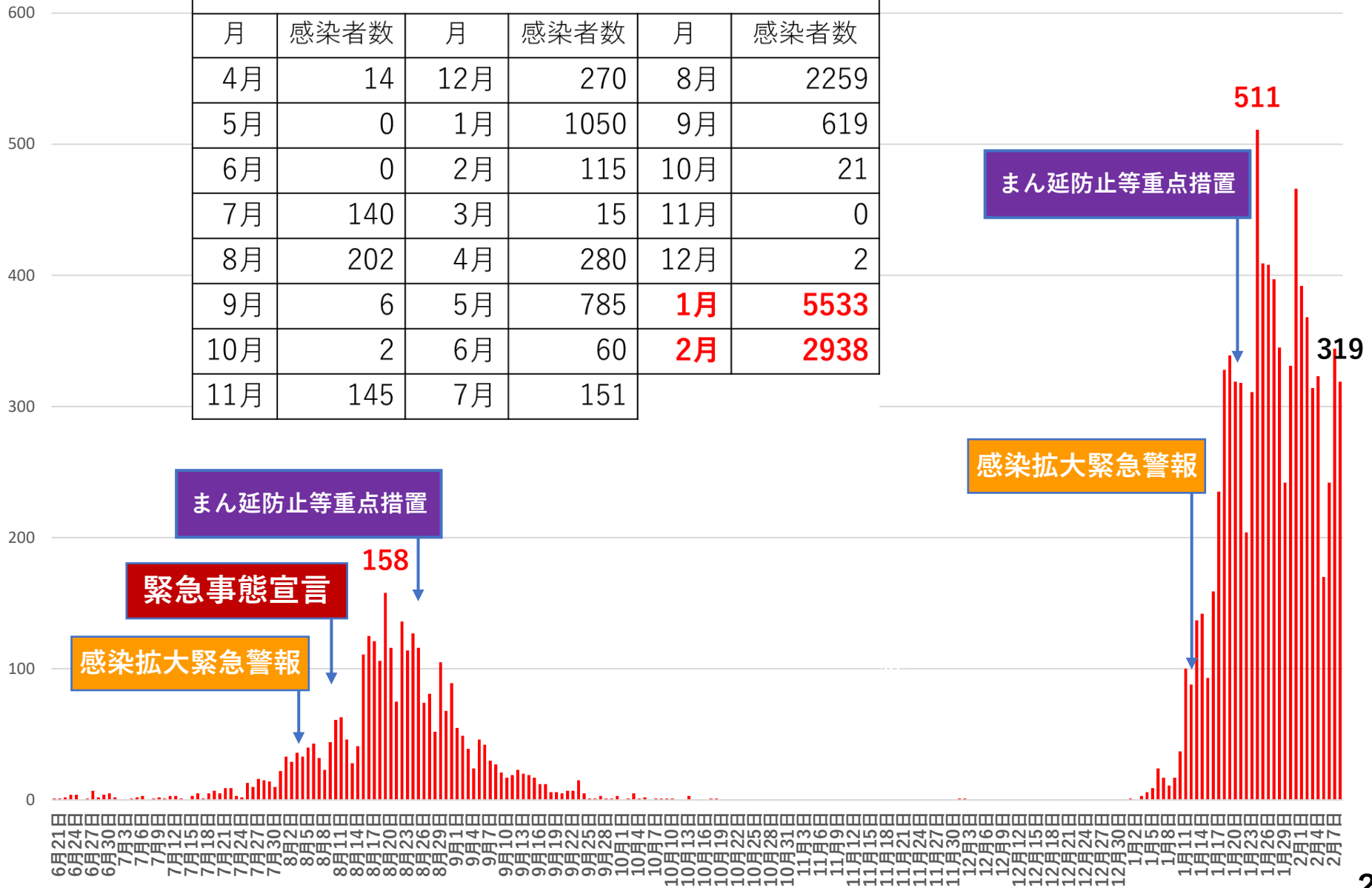
宮崎県



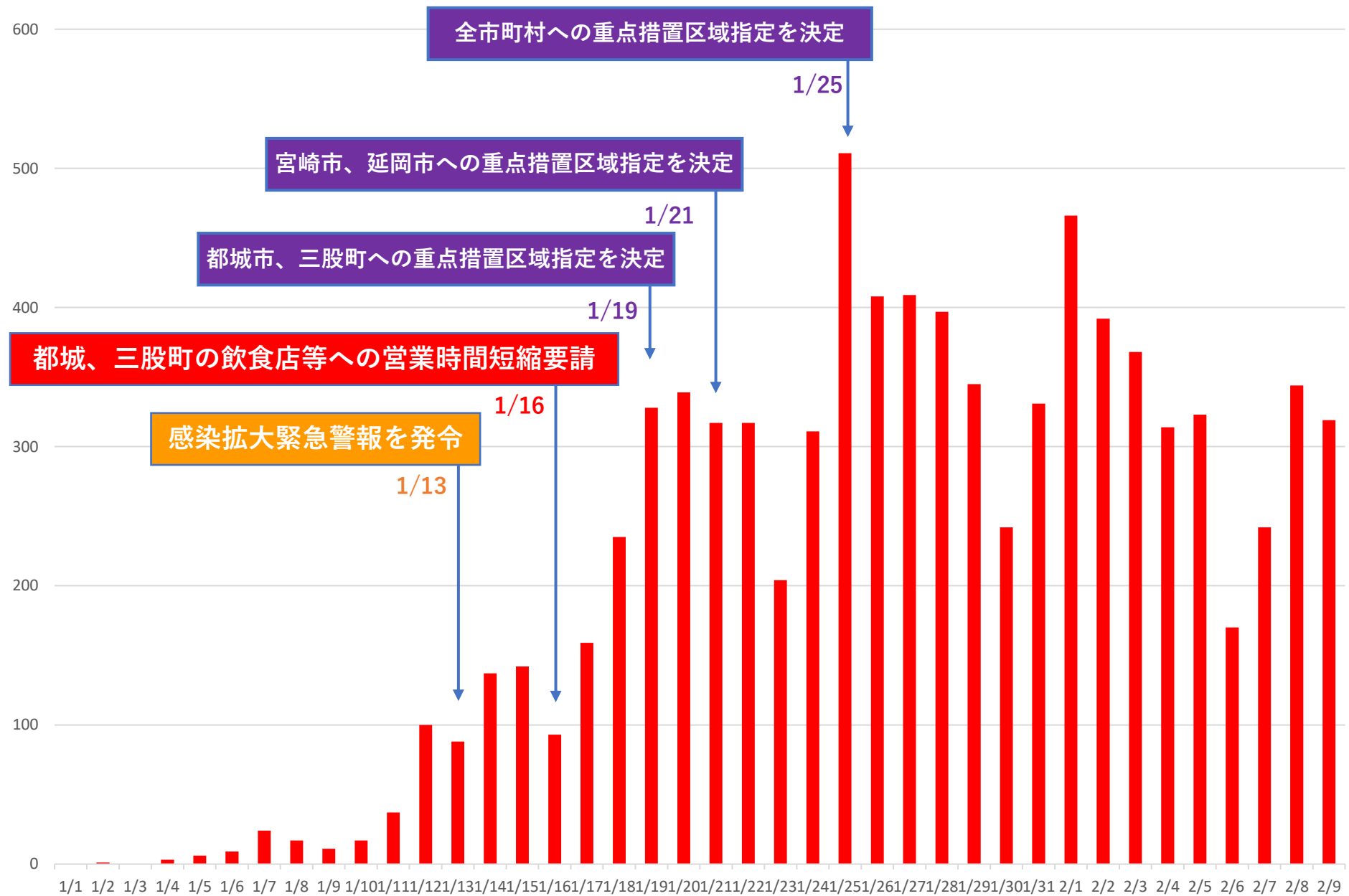
本県の1日当たりの新規感染者数

(参考) 月別感染者数

月	感染者数	月	感染者数	月	感染者数
4月	14	12月	270	8月	2259
5月	0	1月	1050	9月	619
6月	0	2月	115	10月	21
7月	140	3月	15	11月	0
8月	202	4月	280	12月	2
9月	6	5月	785	1月	5533
10月	2	6月	60	2月	2938
11月	145	7月	151		



第6波における1日当たりの新規感染者数



1日当たりの新規感染者数（前週との比較）

1～2月

※前週との比較

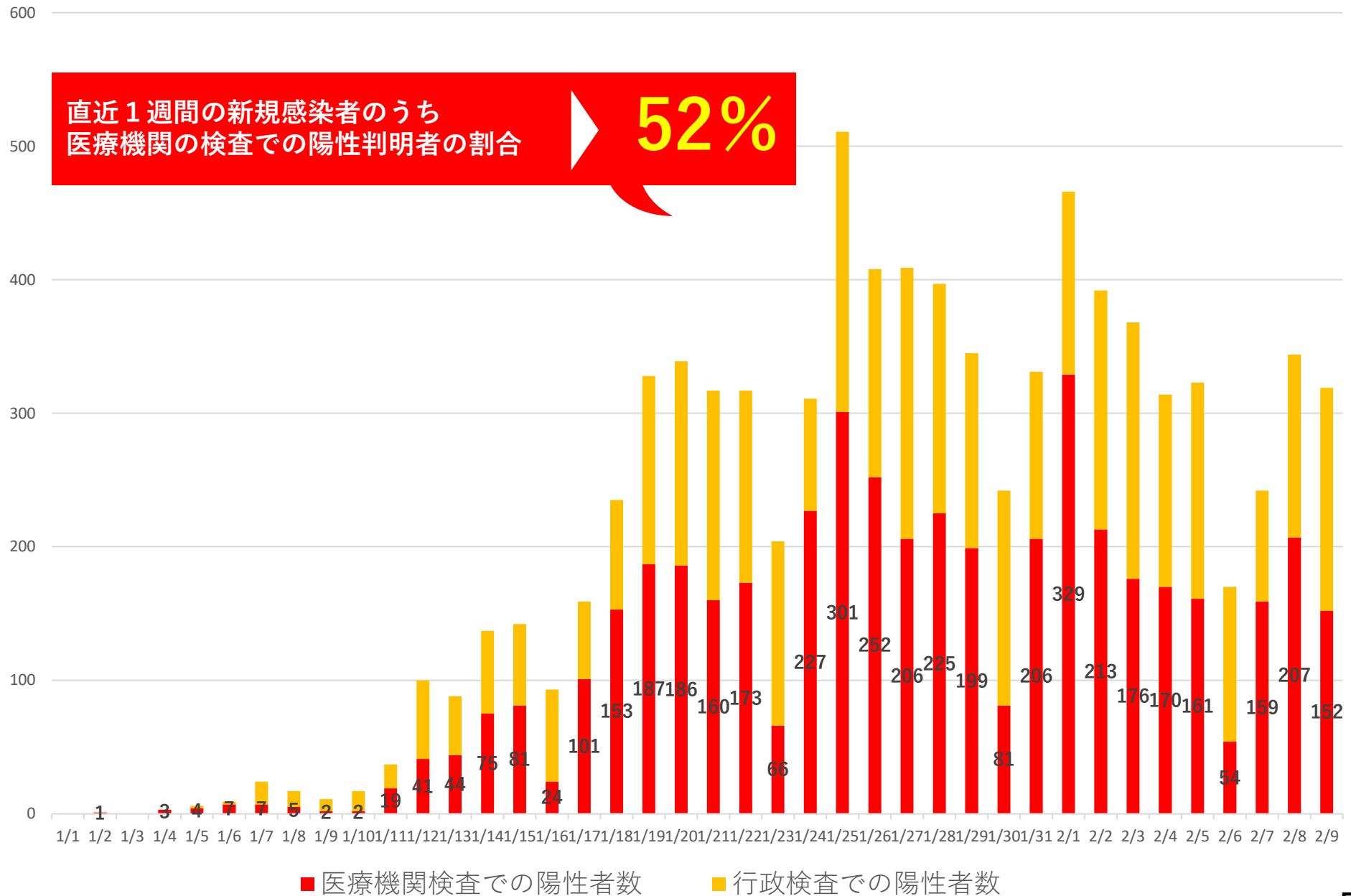
2022（令和4年）

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
25	26	27	28	29	30	1 0人 +0人 -
2 1人 +1人 -	3 0人 +0人 -	4 3人 +3人 -	5 6人 +6人 -	6 9人 +9人 -	7 24人 +24人 -	8 17人 +17人 -
9 11人 +10人 (11.0倍)	10 17人 +17人 -	11 37人 +34人 (12.3倍)	12 100人 +94人 (16.7倍)	13 88人 +79人 (9.8倍)	14 137人 +113人 (5.7倍)	15 142人 +125人 (8.4倍)
16 93人 +82人 (8.5倍)	17 159人 +142人 (9.4倍)	18 235人 +198人 (6.4倍)	19 326人 +226人 (3.3倍)	20 337人 +249人 (3.8倍)	21 317人 +180人 (2.3倍)	22 317人 +175人 (2.2倍)
23 204人 +111人 (2.2倍)	24 311人 +152人 (2.0倍)	25 511人 +276人 (2.2倍)	26 408人 +82人 (1.3倍)	27 409人 +72人 (1.2倍)	28 397人 +80人 (1.3倍)	29 345人 +28人 (1.1倍)
30 242人 +38人 (1.2倍)	31 330人 +19人 (1.1倍)	1 466人 -45 (0.9倍)	2 392人 -16 (1.0倍)	3 368人 -41 (0.9倍)	4 314人 -83 (0.8倍)	5 323人 -22 (0.9倍)
6 170人 -72 (0.7倍)	7 242人 -88 (0.7倍)	8 344人 -122 (0.7倍)	9 319人 -73 (0.8倍)	10	11	12

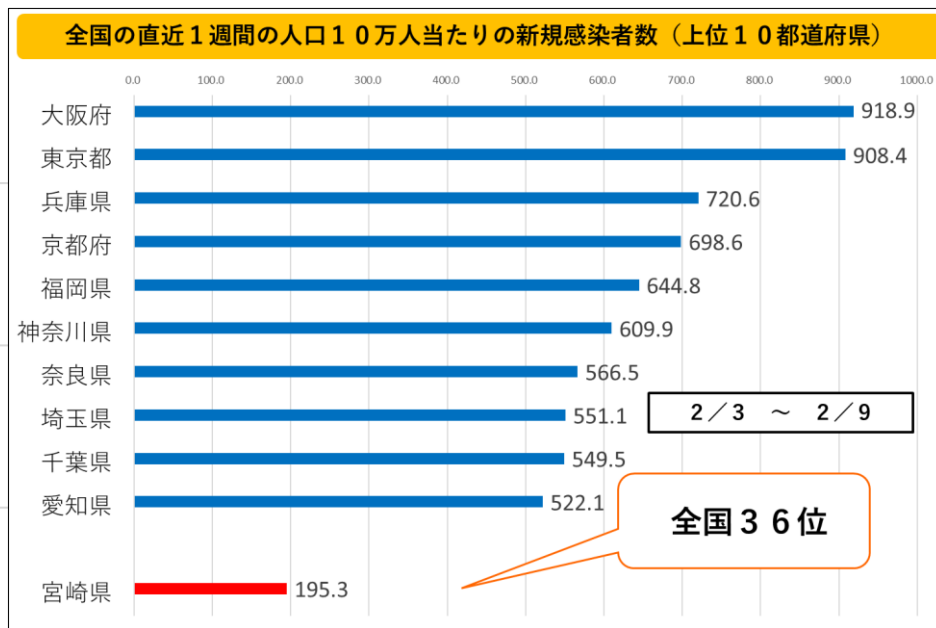
行政検査・医療機関検査での陽性者数

直近1週間の新規感染者のうち
医療機関の検査での陽性判明者の割合

52%



本県の直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数

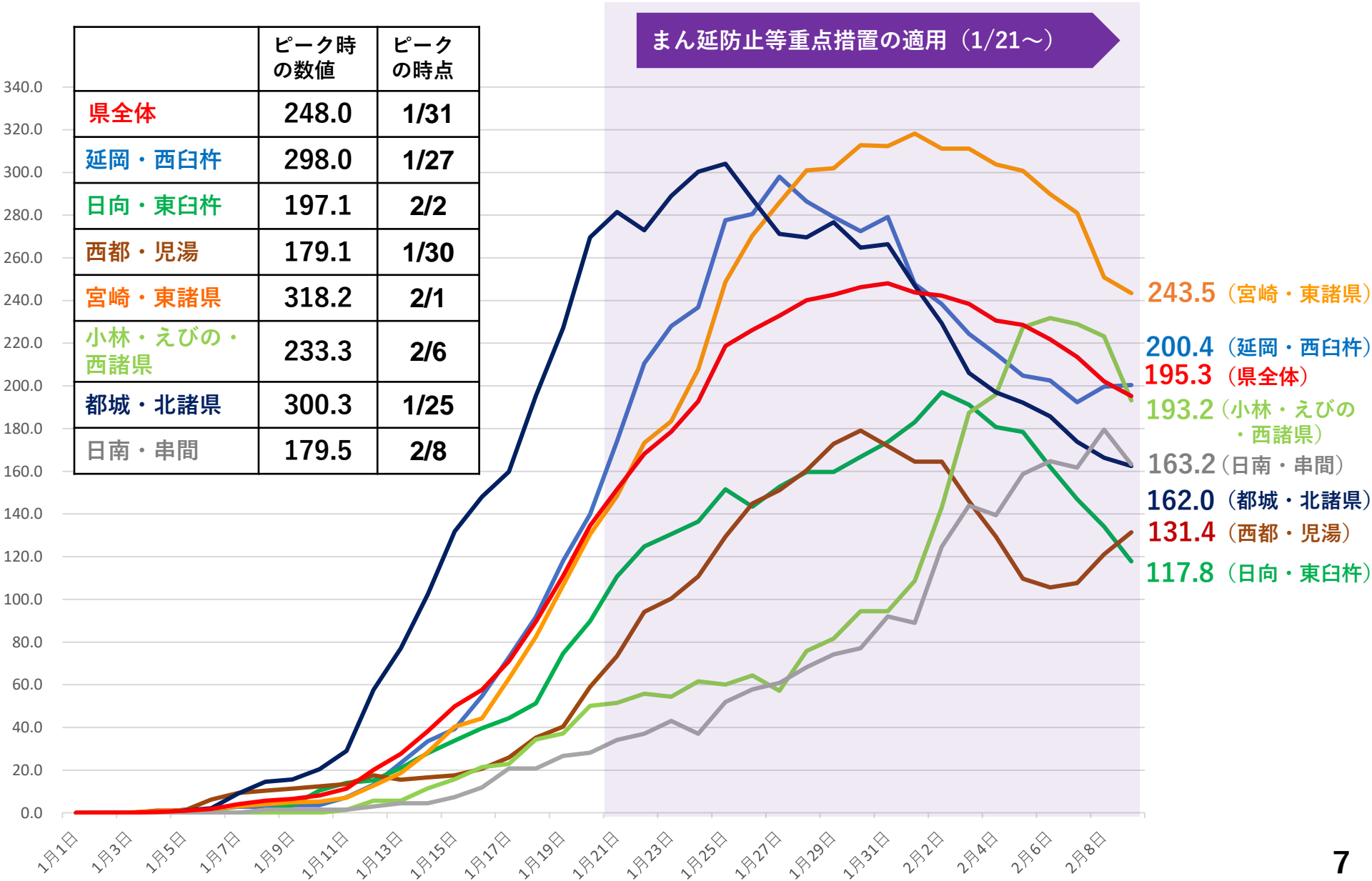


各圏域の感染状況

(直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数)

まん延防止等重点措置の適用 (1/21~)

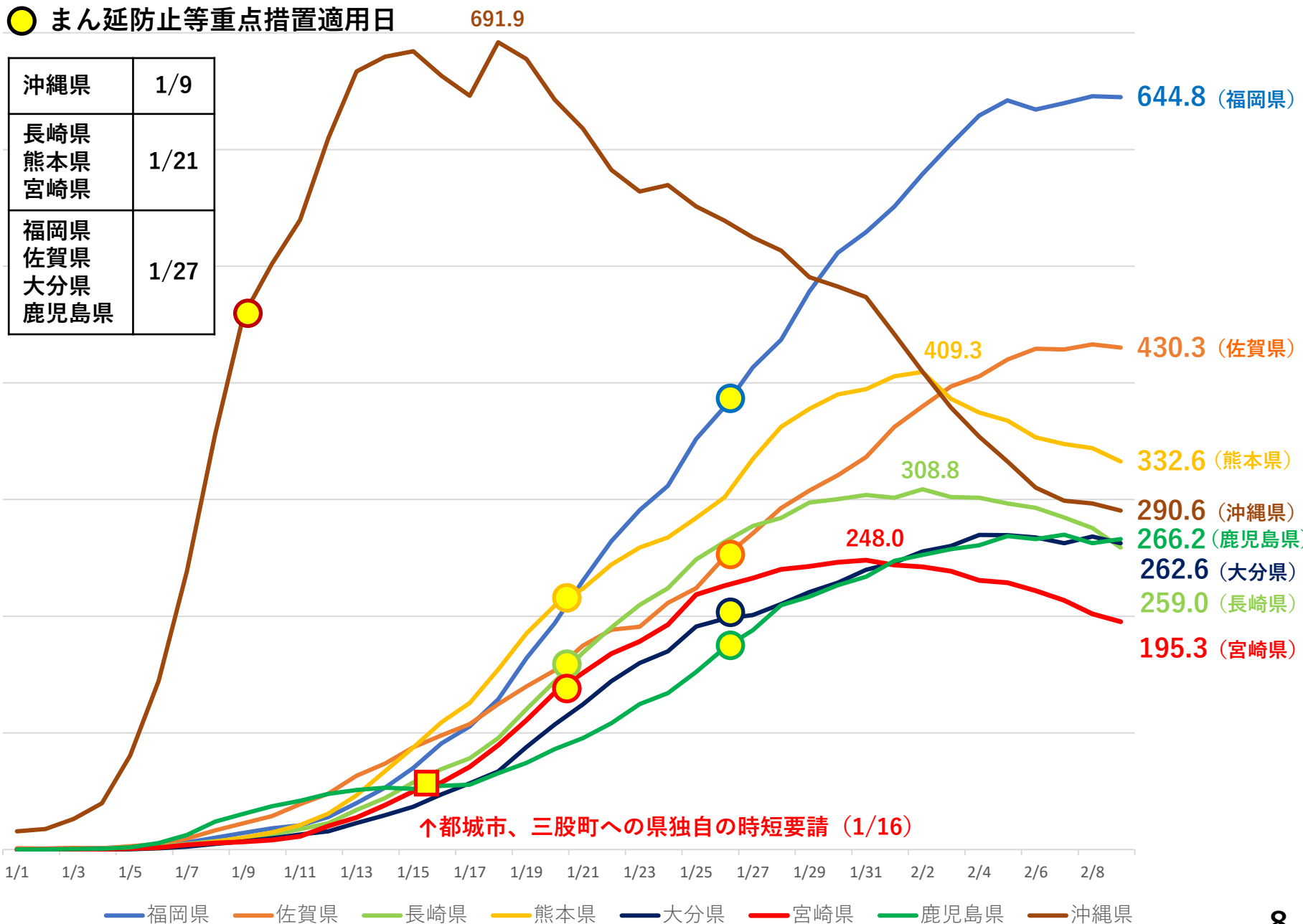
	ピーク時の 数値	ピーク の時点
県全体	248.0	1/31
延岡・西臼杵	298.0	1/27
日向・東臼杵	197.1	2/2
西都・児湯	179.1	1/30
宮崎・東諸県	318.2	2/1
小林・えびの・ 西諸県	233.3	2/6
都城・北諸県	300.3	1/25
日南・串間	179.5	2/8



九州各県の感染状況（直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数）

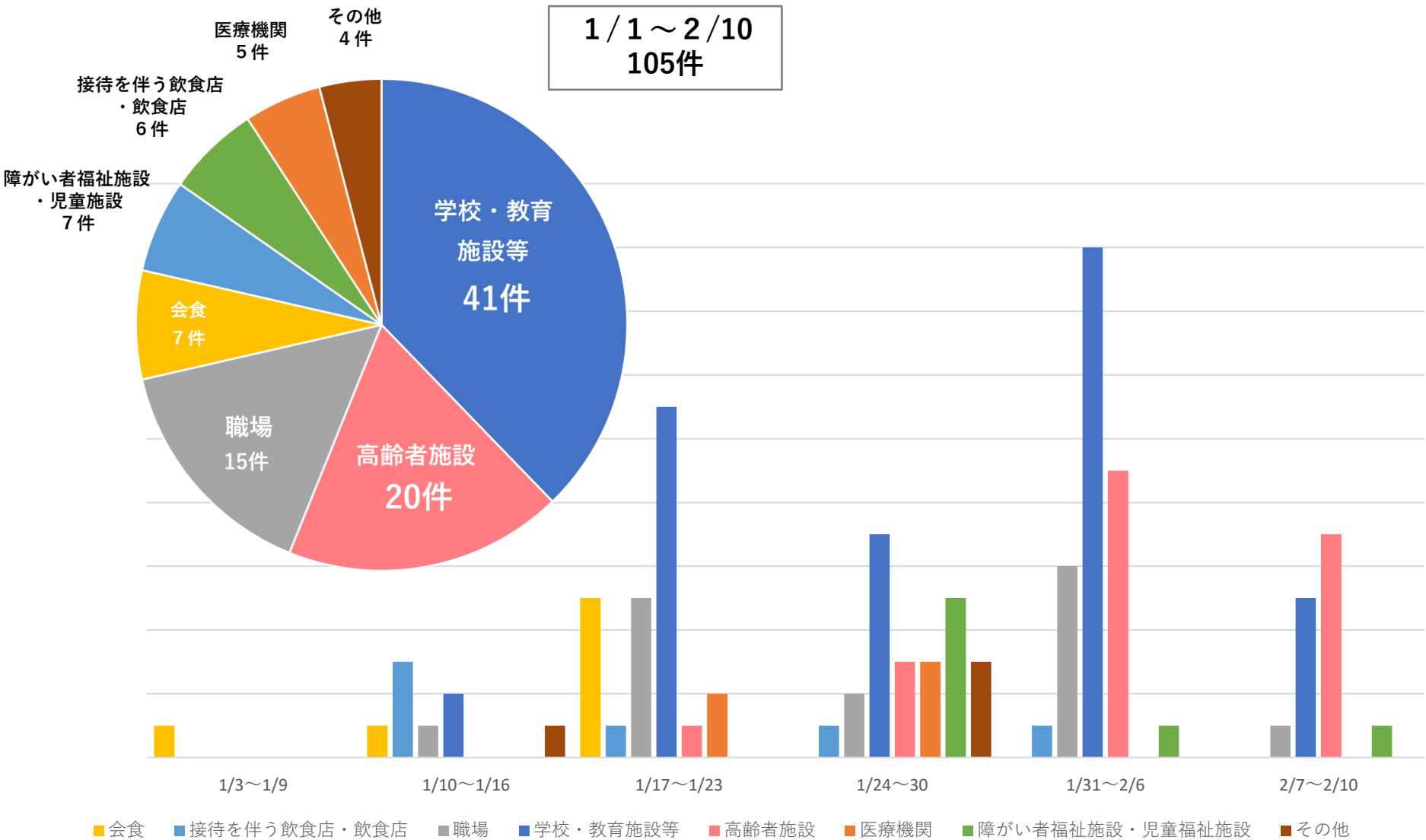
● まん延防止等重点措置適用日

沖縄県	1/9
長崎県 熊本県 宮崎県	1/21
福岡県 佐賀県 大分県 鹿児島県	1/27



第6波におけるクラスター発生状況

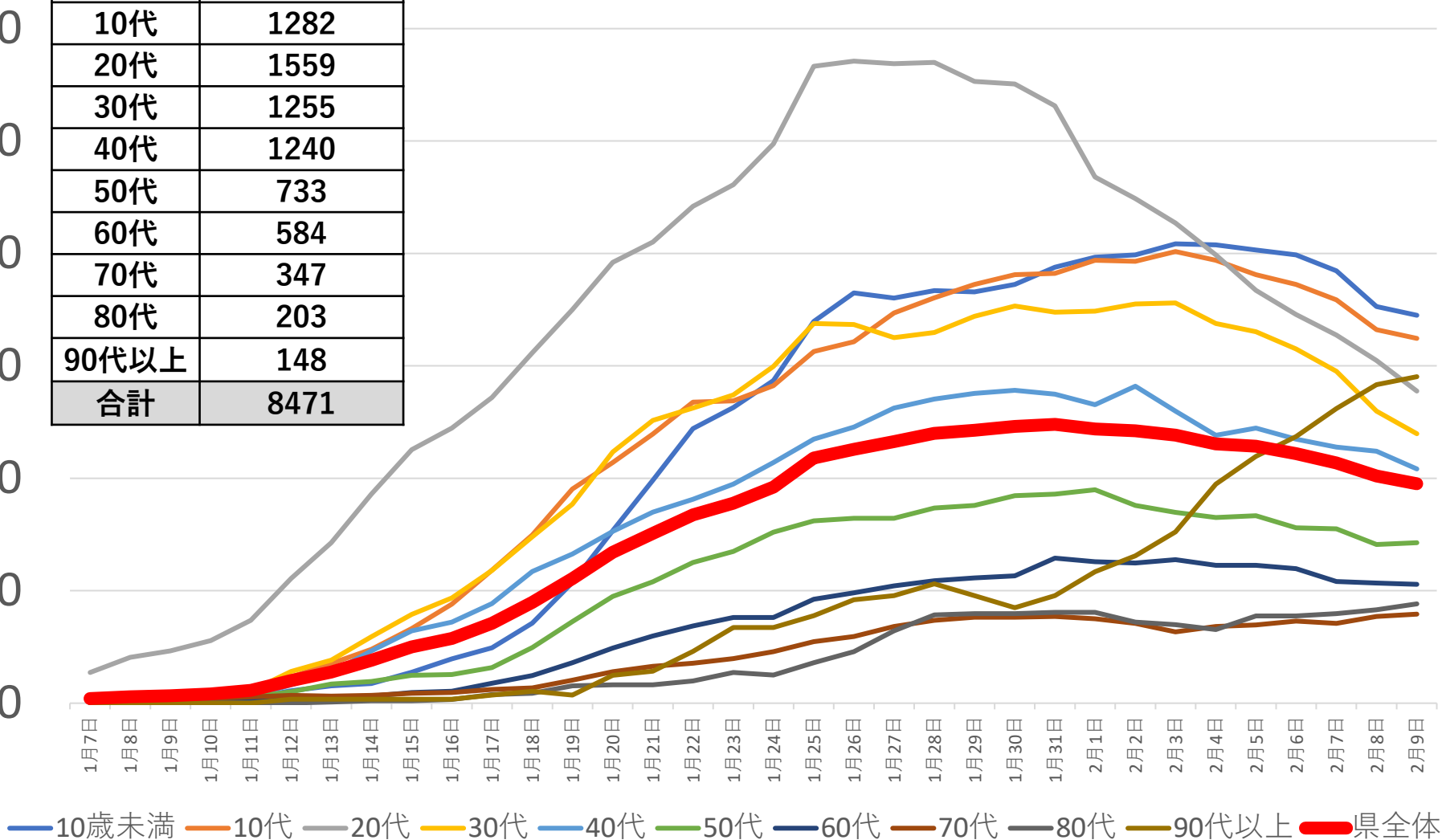
1 / 1 ~ 2 / 10
105件



直近では学校・教育施設や高齢者施設での発生が増加！

第6波における年代別の新規感染者数（人口10万人当たり）

10歳未満	1120
10代	1282
20代	1559
30代	1255
40代	1240
50代	733
60代	584
70代	347
80代	203
90代以上	148
合計	8471



20代の感染が先行して急拡大した後、

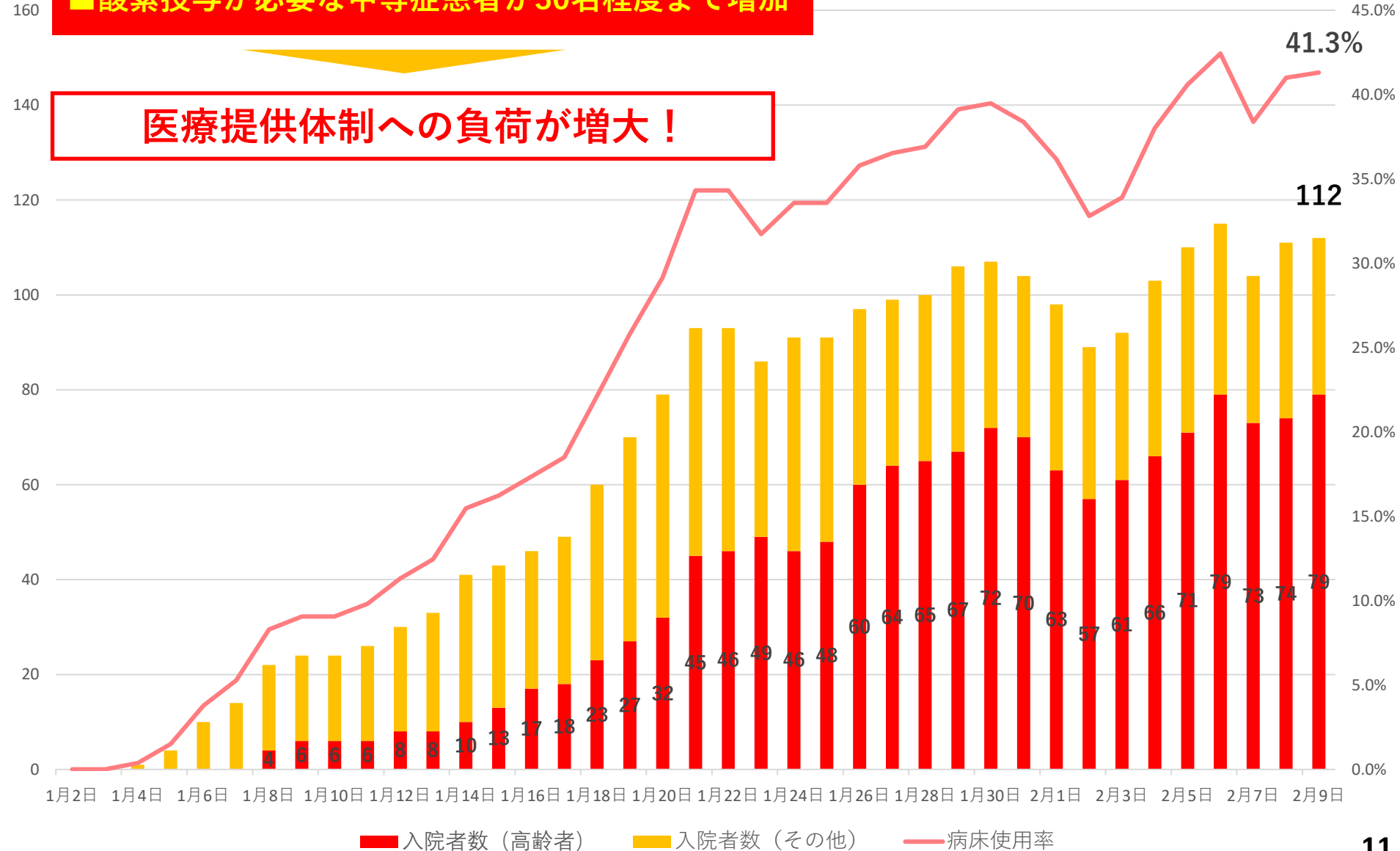
全世代に感染が波及し、直近では高齢者の感染が増加！

入院患者数（病床占有率）の状況

■ 入院患者の約7割が65歳以上の高齢者

■ 酸素投与が必要な中等症患者が30名程度まで増加

医療提供体制への負荷が増大！



関係指標の状況

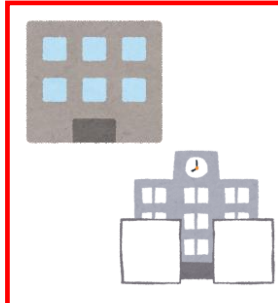
指 標		現状値	備 考
医療提供体制等の負荷	①病床の ひっ迫具合 (現時点での確保病床数の占有率等)	病床全体	41.3% ・ 2月9日時点 ・ 現時点での確保病床数 271床
		うち重症者用病床	0.0% ・ 2月9日時点 ・ 現時点での確保病床数 15床
		入院者数 (※)	112人 ・ 2月9日時点
	②療養者数 (人口10万人当たりの療養者数)	271.4人	・ 2月9日時点 ・ 療養者数：入院者、宿泊・施設療養者、自宅療養者、入院・療養調整中の方を合わせた数
感染の状況	③PCR等陽性率	16.6%	1月27日から2月2日まで ・ (医療機関での検査分を含む) ・ 陽性者数／PCR等検査件数
	④新規報告数 (直近1週間の人口10万人当たりの感染者数)	195.3人	・ 2月3日から2月9日まで
	⑤感染経路不明割合	37.8%	・ 1月29日から2月4日まで

これまでの第6波の感染の流れ

今、対策を緩めると、これまでの流れを繰り返す可能性も！



家庭に感染が持ち込まれ、家族・親族間で感染が拡大



職場や学校に感染が持ち込まれ、クラスターが発生



高齢者施設や医療機関に感染が持ち込まれ、クラスターが発生

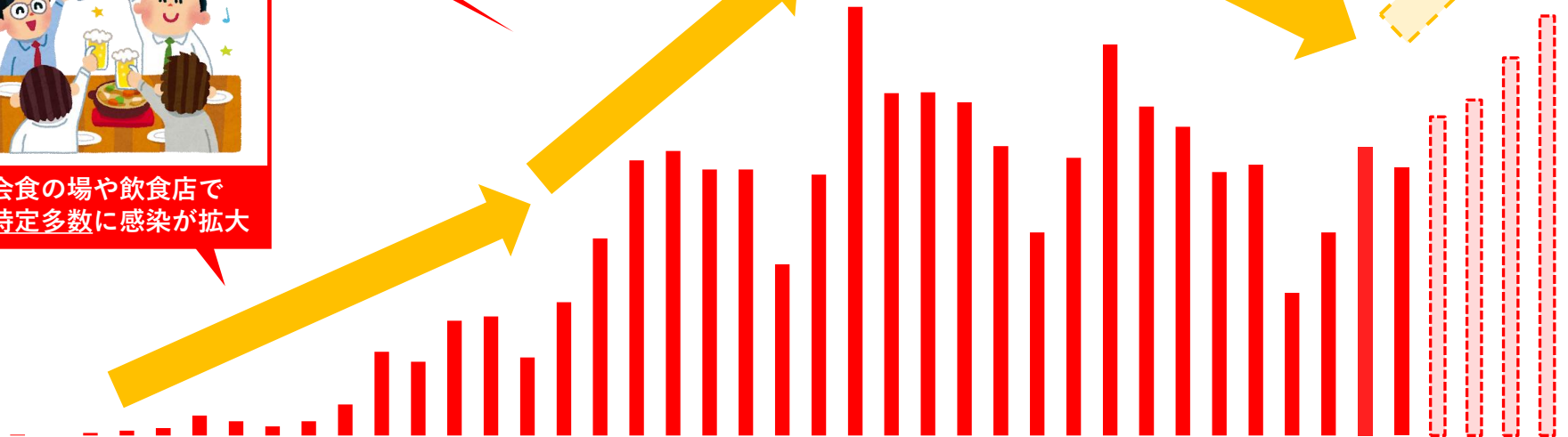
感染の囲い込みにより
ようやく減少傾向に



会食の場や飲食店で不特定多数に感染が拡大



会食の場や飲食店で不特定多数に感染が拡大



感染状況等の分析（まとめ）

- **「まん延防止等重点措置」の実施に一定の効果**
 - ・ 先行して感染が拡大した圏域（都城・北諸県、延岡・西臼杵）で減少傾向
 - ・ 県全体の新規感染者数も9日連続で前週同じ曜日を下回る
- **県全体として「ピークアウト」の状況には至っていない**
 - ・ 最大の人口を有する宮崎・東諸県圏域で感染が高止まり
 - ・ 依然としてクラスターが連日発生
- **医療提供体制への負荷が増大**
 - ・ 入院患者のうち、65歳以上の高齢者の割合が増加（約7割）
 - ・ 酸素投与を必要とする中等症の患者が増加（30名程度）



春休みシーズンを迎える前に、感染を抑え込み、その後の経済回復につなげていくため、**引き続き強い感染防止対策の継続が必要**